

令和3年度 プログラムB（複合型）研修歯科医

金井 爽海 先生（B-1）

私は他県の大学で6年間過ごしましたが、地元である新潟でキャリアを積んでいきたいと考え研究、臨床の面で幅広くリードしているこの病院を選びました。

現在は病棟、外来で処置の基礎を教わっています。病棟では朝、夕の回診で入院患者さんの容態を確認し、指導医の先生方の病棟処置から注視すべき点を見て覚えているところです。最近では外来で簡単な抜歯もさせてもらえるようになり教科書や講義では知りえなかった治療の難しさを痛感しています。知識、技量ともに未熟ですが先生方のカバーもあり充実した研修生活を送れています。

研修が終了する頃には自分で判断し処置できる症例を増やし、患者さんに侵襲が少ない治療が行えるように日々の研修を有意義にしていきたいです。

渡部 清人 先生（B-2）

プログラムB最大の魅力は、大学の治療と外部施設の治療を比較できる場所にあると思っています。半年間は大学、もう半年間は大学の指定する協力型研修施設で研修を行います。私は2年目以降、大学で入れ歯の診療科に残るのか、それとも一般歯科に勤務するのか迷っているので、この1年の研修を通して自分の進路が決められればと思い、このプログラムを選びました。

現在は、群馬県の利根歯科診療所で研修中です。主にむし歯治療、歯周病治療を担当させていただいております。指導医の先生方はとても親切で、充実した研修生活を送っています。毎日できないことの連続ですが、1年の研修を通して、どんなことがあっても、めげずに努力を重ね続けられるような強靱なメンタルを身に着けたいと思います。